

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

\*回答者6名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		・その日の利用人数によって解放する部屋を調整したりと、利用人数とスタッフ人数に応じてスペースの調整を行っています。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		・2つのクラスに分けて活動を行っており、それぞれのクラスごとに顔写真を掲示し、誰がどの部屋で過ごすか等見てわかるよう構造化を図っている。 以前は玄関口に段差があったが、新しい建物になり、バリアフリーになった。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		・掲示物などは必要最低限にし、目につく余計なものは置かないようしている。 ・静的活動と動的活動の場を分けている。 ・その日のスケジュールを入室してすぐの位置に掲示し、子どもたち自身が見通しを持てるよう配慮している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%		・評価会議や計画作成会議等を通して、職員みんなで評価、分析、計画作成に取り組んでいる。 ・毎日、午後・午前の振り返りを行っています。また、振り返り内容を全体ミーティングにて共有することで、職員間で子どもの様子や連絡事項等の共通理解に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		・保護者評価の内容にあった、バリアフリー化等に取り組み改善を図った。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		・ホームページにて公開している。 ・職員間には、回覧を行い全職員が目を通してしている。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		・年度初めには、全職員に向けて毎年研修を行っている。 ・年間通して定期的にカンファレンスやスケジューリング会議、ワークショップなどを行っている。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		・サービス等利用計画に基づいた具体的な目標を立てられるよう、担当者だけでなく、その他職員も入り計画作成案について話し合いを持っている。 課題についても会議を持ち、分析を行っている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		・計画作成時には、5領域に基づいたアセスメントシートを使用し発達状況を把握している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		・ガイドラインが出た年度より、この3項目に基づいて具体的支援内容を考え、個別支援計画を作成している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		・具体的目標を目にする習慣を持ち、支援を行っている。

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	・毎月、第2週目の火曜日をスケジュールリング会議、第4週をスケジュール確認会議を行い、チームで立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	・前月や前々月の活動と見比べたり、1年前の同じ時期の内容を振り返り立案するようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	・個別活動を中心に、集団活動には無理せず部分参加や見学参加など、それぞれに合わせた参加方法にて支援を進めている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	・スケジュール確認会議の際に準備物などは確認しているが、加えて、毎朝のミーティングにてその日の活動内容（開始時間、準備物）の確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	・降所後、職員全員での子どもたちの様子を共有し、振り返りを行っている。その際、支援の方法や工夫点等を話し合い、一貫した対応ができるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	・その日のうちに必ず記録をとり、支援の改善につなげられるよう大事なことは別途経過記録にも記載するようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	・見直しの際、継続する目標がある場合は、達成しやすいよう本人の役割を変更したり、支援内容の工夫点を変更するよう心がけている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	・児発管に加え、担当者は必ず参加するようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	・町保健師とは顔の見える関係であり、互いに連絡を取り合っている。 ・利用児童の紹介や見学の際の同行なども行ってきている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50%	・現在医ケアの利用はない。  無回答3名
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50%	・現在医ケアの利用はない。  無回答3名
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	・前向きな関係が保てるよう、こちらでの支援の内容、関わり等をお伝えするよう心がけている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	・前向きな関係が保てるよう、こちらでの支援の内容、関わり等をお伝えするよう心がけている。 ・スムーズな就学移行に向けて、支援ファイルの作成や情報提供書の作成等、また場合に応じてケース会議を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	・発達障がい者支援センターイコールの支所でもあり、毎月会議に参加し連携を図っている。その他、県内の児発センターとも連絡を取り合っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	・コロナ禍前は町内幼稚園と定期的な交流を行っていたが、現在はできていない。来年度はこども園との交流をお願いしている。  無回答3名
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	・地域子育て会議や特別支援連携協議会会議などに参加し、こどもの育ちや支援について考え取り組んでいる。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	・送迎時や連絡帳にて、その日の子どもの状況を伝えたり、必要に応じて面談などを行い、課題について一緒に考える時間を設けている。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%		・子育てを前向きにできるよう、毎年ペアレントプログラムを行い、保護者の支えとなれるよう取り組んでいる。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		・利用開始時に丁寧に説明を行っている。 ・利用者負担については契約前にも説明をするようにしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・相談を受けた際は、悩みを聞き受け止めるだけでなく、どうしたらよいか等、何か一つでも持ち帰ってもらえるように努力している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%		・コロナ禍に入って以降、保護者会はできていないが、ペアレントプログラムに参加してくれた保護者同士でつながりをもってもらえている為、今後も継続していく。  無回答3名
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		・相談があった際は、あまり日を置かず、早めに対応できる日を数日提案し、早急に対応できるよう心がけている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		・行事予定表や月の療育プログラム、おたよりを定期的にアプリより配信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		・同意書をとり十分配慮している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		・口頭だけでなく視覚的にわかるようホワイトボードに記載したり、メールや紙ベース等、個々の状態、保護者に合わせて対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	67%		・保育コーディネーターの視察研修の受け入れ、町内外の児童民生委員や各種団体の見学の受け入れなどを行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%		・感染症マニュアルにおいては各ご家庭に配布周知している。 ・全マニュアルは職員間にて回覧し、職員全体で訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		・年2回以上、訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		・利用開始時には確認を行い、服薬状況などが変更になった際はその都度お知らせしていただき把握を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	100%		・こちらで食事を摂る児童の中には、現在食物アレルギーを持っている児はいない。過去、対象がいた年は指示書に基づいて対応した。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67%	17%	・事例集はなかった為、今回作成した。(令和6年2月現在)  無回答1名
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・年度初めには必ず研修を行い、2回以上の研修を行っている。その他、普段の関わりの中で不適切な対応がないか検証を行い虐待につながらないよう配慮している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%		・こどもの安全を確保するためにやむを得ない状況があることを十分説明し、同意を求め、計画に記載している。